

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/作業療法学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
身体作業療法評価学演習		必修	2	2	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
山鹿 隆義 他	C307	t.yamaga	月・火曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	評価が作業療法を实践する上で重要である。本演習は身体障害を持ち、生活に障害を抱える対象者に対して最低限の評価ができるようになることが目的である。課題提示・双方向型授業等の遠隔授業の他に、検査測定を始めとする評価技術を身に付ける演習を行う。				
学習上の助言	本演習で扱う評価法は作業療法実践に最低限必要なものである。習熟には繰り返しの練習が必要であり、講義・演習時間だけでは不足しているため能動的に学習すること。また、臨床では講義・演習で扱ったもの以外も求められるため積極的に学習してほしい。				
教科書	①標準作業療法学 作業療法評価学 第3版/著:岩崎テル子 他/編:岩崎テル子 他/医学書院 ②新・徒手筋力検査法 原著第8版/著:Helen J.Hislop 他/訳:津山直一 他/協同医書 ③脳卒中の機能評価—SIASとFIM[基礎編] 著:千野直一 金原出版 【3冊指定】				
参考書	PT・OTのための測定評価 DVD Series 1.ROM測定/著:伊藤俊一 他/編:伊藤俊一 他/三輪書店 PT・OTのための測定評価 DVD Series 2.形態測定・感覚検査・反射検査				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	身体障害領域の作業療法の測定・評価方法を理解し、実践できる。			OT (1) ~ (3)	
②	身体障害領域の作業療法評価計画が立案できる。			OT (1) ~ (3)	
③					
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1.2	ICFを理解する。 フィードバック：課題返却で実施 意見交換の機会：授業時間及びメール等で実施	印刷教材等での授業	教科書を精読し、事例検討課題①を提出する。	6	
3.4	ADL評価を学習する。 フィードバック：課題返却で実施 意見交換の機会：授業時間及びメール等で実施	印刷教材等での授業	教科書を精読し、事例検討課題②を提出する。	6	
5.6	事例検討を通してICFと活動の関連を理解する。 フィードバック：課題返却で実施 意見交換の機会：授業時間及びメール等で実施	印刷教材等での授業	教科書を精読し、事例検討課題③を提出する。配布資料を精読	6	
7.8	基本動作を理解する。 フィードバック：課題返却で実施 意見交換の機会：授業時間及びメール等で実施	印刷教材等での授業	文献を調べ、レポート課題①を提出する。	6	
9.10	基本動作と身体機能を理解する① フィードバック：課題返却で実施 意見交換の機会：授業時間及びメール等で実施	印刷教材等での授業	文献を調べ、レポート課題②を提出する。	6	
11.12	基本動作と身体機能を理解する② フィードバック：課題返却で実施 意見交換の機会：授業時間及びメール等で実施	印刷教材等での授業	文献を調べ、レポート課題③を提出する。	6	
13.14	事例課題のまとめ フィードバック：課題返却で実施 意見交換の機会：授業時間及びメール等で実施	印刷教材等での授業	今までの課題を振り返り、学習内容を復習する。	3	
15.16	活動の評価を学習する	同時双方向型授業	配布資料を精読	3	
17.18	脳の画像と機能評価を学習する。	同時双方向型授業	配布資料を精読	3	
19.20	ROMex (肩・肘・前腕・手) を実践・学習する。	面接授業 (実技)	ROMex を練習する	3	
21.22	ROMex (股・膝・足) を実践・学習する。	面接授業 (実技)	ROMex を練習する	3	
23.24	MMT (股・膝・足) を実践・学習する。	面接授業 (実技)	MMT を練習する	3	
25.26	MMT (股・膝・足) を実践・学習する。	面接授業 (実技)	MMT を練習する。	3	
27.28	全身状態を評価する (バイタルサイン、運動耐容能など)。運動機能の評価を实践する (神経系)。	面接授業 (実技)	全身状態の評価手技を習熟する 神経系評価手技を習熟する 事前課題を実施する。	3	

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/作業療法学科】

29.30	基本動作評価法・上肢機能評価法	面接授業（実技）	基本動作評価法・上肢機能評価を習熟する。事前課題を実施する。				3	
試	期末試験							
達成度評価								
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計	
		100	0	0	0	0	100	
総合力指標	知識・技術力	100	0	0	0	0	100	
	思考・推論・創造する力	0	0	0	0	0	0	
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0	
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0	
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0	
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0	
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0	
評価のポイント						フィードバックの方法		
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点						
試験	①	✓	期末試験にて学習した評価法の理解を問う。				定期試験後に答案用紙を一時返却し、フィードバックを行う。	
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
レポート	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
成果発表	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
その他	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
備 考								
<p>担当教員：山鹿 隆義、海保 享代</p> <p>Teams を使った同時双方向型授業も行います。授業時は通信容量が無制限の Wifi 環境を推奨します。</p> <p>実技は大学にて実施します。実習着・靴を着用して受講してください。</p> <p>大学構内での授業受講に際して、大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は授業の参加を認めません。</p> <p>受講態度に問題がある学生は退室をしてもらいます。</p> <p>今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更の可能性があります。</p> <p><b>教員の実務経験</b>：本科目の担当教員は 10 年以上の臨床業務経験がある。</p> <p><b>実践的授業の内容</b>：テキストと併せて臨床における治療で得た知見に基づき作業療法に必要な基本的実技・知識を教授する。</p>								